

【施策の体系】2 生涯学習

【政策】第1項 生涯学習の推進

【施策】(1) 学習環境の整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P12

主な取組	学習情報の提供						担当課	自己評価
							社会教育課	B
取組状況	市民の学習と活動を支援する情報の収集・提供を進める。また、ICT機器を活用した情報発信の充実を図る。							
前年度の課題・改善点	生涯学習情報紙「かがやく」については、編集委員不在により発行形態を情報紙から広報いるまに変更することで、情報提供の継続に努めた。							
令和4年度実績	生涯学習情報紙「かがやく」の広報いるまへの年2回掲載 インターネット等を活用した学習情報の提供 「生涯学習茶の都出前講座」40件 「生涯学習ガイドブック」年2回、「いるま学びの場」年1回の発行							
指標及び説明	【指標】学びの場ホームページへのアクセス数				【説明】ホームページへのアクセス件数により、学習環境の充実度を判断する。			
指標の推移	単位	現状値	実績値					目標値
	件	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		8,834	平時					10,500
		R2有事	7,336					R8有事
4,236		5,100						
自己評価の主な理由	インターネットを活用した学習情報の提供や、「いるま学びの場」の発行など、当初の計画通りに進めることができた。							
課題及び改善点	WEBを活用した情報発信が進んだが、情報機器を使用しない方等、多様な市民のニーズに応えられるよう、様々な媒体を通しての情報発信を行っていく。							

【施策の体系】2 生涯学習

【政策】第1項 生涯学習の推進

【施策】(1) 学習環境の整備

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P12

主な取組	学習機会の充実						担当課	自己評価
							社会教育課	B
取組状況	市民活動団体や大学・企業等との連携・協働を図り、市民が学んだことをまちづくりにいかせる学習機会を提供する。							
前年度の課題・改善点	大学等との連携事業においては、協議や準備に時間を要することから、コロナ禍での見通しが立てにくく、開催方法の検討が必須である。							
令和4年度実績	まちの先生講座受講者 356人 生涯学習フェスティバル会場参加者 278人、オンライン視聴者 1,568人 文芸入間投稿者 126人 茶の都出前講座受講者約 700人 子ども大学さやま・いるま修了生 15人 子ども音楽大学いるま修了生 15人							
指標及び説明	【指標】生涯学習事業への参加者数				【説明】事業への参加者数により、学習環境の充実度を判断する。			
指標の推移	単位	現状値	実績値					目標値
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		6,308	平時					7,000
		R2有事	3,044					R8有事
864		1,000						
自己評価の主な理由	生涯学習フェスティバルでは、オンラインでの開催に加え、今年度は会場開催も3年ぶりに実施し、ハイフレックスの開催は、参加者から高評価を得た。							

課題及び改善点	市民の参画をどのように構築していくかが課題である。
---------	---------------------------

【施策の体系】 2 生涯学習

【政策】 第1項 生涯学習の推進

施策	(1) 学習環境の整備			
施策評価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
		学習情報の提供	社会教育課	B
	学習機会の充実	社会教育課	B	
学識経験者意見等	<p>生涯学習情報紙「かがやく」の発行について、前年度の課題であった「ボランティア編集委員の応募がない。」という状況から、発行形態を情報紙から広報いるまへの年2回(9月号、12月号)に変更し、情報提供の継続に努めておられることに注目させていただきます。広報いるまへの掲載は、ある意味現実的な変更ですが、生涯学習が「市民が自分達の人生を豊かに過ごすための取り組み」であることを考えると、学習者である市民自身が編集委員として学習情報の発信を担うことに大きな意義があることも事実です。ぜひ、ボランティア編集委員復活の可能性、広報いるま掲載でのメリット・デメリット等を今後も精査し、より豊かな生涯学習情報の発信を検討していただきたいと思ひます。</p> <p>自己評価Bは妥当であり、「かがやく」発行形態の変更や、インターネット等を活用した学習情報の提供等、前年度の課題・改善点を踏まえた運営の改善が十分になされ、「いるま学びの場」HPへのアクセス数に成果があらわれると思ひます。</p> <p>生涯学習フェスティバルの実施については、オンラインでの実施に加え、会場開催も3年ぶりに実施され、ハイフレックスでの開催が参加者から高評価を得ている点を評価いたします(会場参加者数278人、オンライン視聴者1,568人)。生涯学習事業への参加者数がR1年度6,308人に対して、R4年度は3,044人とコロナ前の水準に近づきつつあり、上記の対面・オンライン併用等、開催方式の工夫による多様な学習機会の提供が奏功しているものと評価いたします。</p> <p>今後のポストコロナにおいても、上記のような取り組みで得た様々な経験・知識・技術は、市民が参画しやすい学習機会の提供・充実の基礎となるものと期待いたします。</p>			

【施策の体系】 2 生涯学習

【政策】 第1項 生涯学習の推進

【施策】 (2) 学習成果の活用

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 3

主 な 取 組	学習成果活用の奨励						担当課	自己評価		
							社会教育課	B		
取 組 状 況	市民が学習した成果を発表する事業の充実を図り、市民の学習活動を奨励する。市民が習得した知識、経験、技術等を地域へ生かす市民講師登録制度の充実を図る。また、登録した市民講師が実施する講座の充実を図る。									
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	10年目となった「まちの先生講座」は、個々の満足度は高いが、受講生同士や講師間の繋がりを構築することができない課題が見えた。									
令 和 4 年 度 実 績	「まちの先生講座」市民講師 55人 「まちの先生講座」9講座(拡張型講座のみ実施)									
指 標 及 び 説 明	【指標】 市民講師数、事業の実施数				【説明】 生涯学習に関する市民講師の人数及び市民講師が実施する講座の数により、市民の学習成果活用の推進度を判断する。					
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値		
	人 講 座	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時		
		61	平時	/	/	/	/	65		
		31						R 8 有事		
R 2 有事		55	/					/	/	/
61	9	25								
22										
自 己 評 価 の 主 な 理 由	「まちの先生講座」については、受講生間・講師間の繋がりを構築するため、今年度は単発の講座を休止し、長期の講座のみの開催としたところ、3つの講座がサークル化に発展した。									
課 題 及 び 改 善 点	「まちの先生講座」については、受講生間・講師間の繋がりを構築し、一過性ではなく、循環型の事業に発展させていくことが課題である。									

【施策の体系】 2 生涯学習

【政策】 第1項 生涯学習の推進

【施策】 (2) 学習成果の活用

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 3

主 な 取 組	市民との協働						担当課	自己評価	
							社会教育課	A	
取 組 状 況	地域で仲間と学ぶ市民を「いるまなびと」として位置づけ、「いるまなびと」が市民に定着し、より多くの市民が「いるまなびと」として学びを推進し、学んだことを暮らしや地域に生かし、市民との協働で各種事業の計画・立案・運営を進めていく。								
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	文芸入間では、編集委員の高齢化及び減少の問題があり、新たな投稿者の拡充と編集委員の人材確保に力を入れる必要がある。								
令 和 4 年 度 実 績	文芸入間第45号の発刊 第27回いるま生涯学習フェスティバルの開催								
指 標 及 び 説 明	【指標】 市民活動団体等の協働による事業数				【説明】 連携協力による事業数により、市民との協働の推進度を判断します。				
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値	
	事 業	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時	
		2	平時	/	/	/	/	2	
		R 2 有事						2	R 8 有事
2		/	/					/	/
自 己 評 価 の 主 な 理 由	生涯学習フェスティバルでは、オンライン開催に加え会場開催を実施し、参加者から高評価を得た。文芸入間編集委員に委員が1名加わり、委員9人での活発な議論を経て45号を発刊した。								
課 題 及 び 改 善 点	生涯学習をすすめる市民の会委員、文芸入間編集委員については、ともに幅広い年齢層の会員拡充など、会員数の維持確保が課題である。								

【施策の体系】 2 生涯学習

【政策】 第1項 生涯学習の推進

施 策	(2) 学習成果の活用			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	学習成果活用の奨励	社会教育課	B	B
市民との協働	社会教育課	A		
学 識 経 験 者 意 見 等	<p>「まちの先生講座」については、市民講師数、事業実施数は少なくなっているものの、受講生・講師間の繋がりを構築し、長期講座のみの開催としていること、また3つの講座がサークル化し、継続的な活動に転化しているとのことで、より活発な活動となるよう支援されていることを評価いたします。</p> <p>「市民との協働」については、文芸入間第45号発刊、生涯学習フェスティバルの開催など、市民活動団体等の協働による事業が維持継続されていることは素晴らしいです。生涯学習を進める市民の会委員、文芸入間編集委員等の人材確保が引き続いての課題とのことで、次年度以降の進展を期待いたします。</p>			